

奥駈道(釈迦ヶ岳南面)笹刈整備と

深仙宿小屋タイマー設置など

◇実施日；2016年09月10日(土)～11日(日) 快晴
 ◇参加者；青木宏充10～11日(二泊二日)
 梶野照雄、榊本真仁(10日日帰り)。 3名。

9月10日から登山口への林道が工事のため時間制限通行止めになることが判り、急遽出発を早めて、5時20分に家を出た。旭橋を渡り、奥吉野発電所へと右折したところに工事案内の看板があったが、「本日解除」のシールが貼ってあった。急いで来なくてもよかったようだ。

8時10分に登山口到着。駐車車両15台で、ほぼ満車状態。着替えて荷物の準備をしていると青木車が到着、8時35分に登り始めた。



本日は規制なし



青木車到着



今日の荷物



深仙宿到着



タイマー取り付け



切れたLED

深仙宿に到着後、青木さんはヘッジトリマーを持って釈迦ヶ岳南面の奥駈道の笹刈に向かった。

私はタイマーの取付けに掛かる。タイマーは行仙小屋のトイレ照明に取付けたものと同じで、8秒・16・32～8192秒の時間が選択できる。深仙小屋は8192秒(およそ136分)を設定した。過酷な使用環境なので耐久性は未知数だが、今後のレポートに注視したい。

8月に逆峯奥駈をした青木、鈴木、栗原の3氏から深仙小屋のLEDの状態を聞いて、交換用に2個のLEDを持って来たが、5灯のうち1灯しか点灯していなかった。

電圧を測ってみると、点灯していない4個のLEDには13.8Vがかかっていた。電流制限抵抗の取付け位置を間違えていたようで、定格の12V以上の電圧が長時間印加されて切れてしまっていた。今回は12Vの定電圧回路も追加したので、今後は電圧の上昇によるLEDの破損は無くなると思う。

交換できなかった2個のLEDは、接続を切り離して「交換予定」と書いた紙を貼っておいた。

深仙宿小屋にトイレは無い。用を足すのは屋外で、となるので、穴掘り用にスコップを用意した。同時に、小屋前に残されていたバチヅルの頭に付ける柄も用意して外壁に設置した。



柄を付ける



外壁に設置



榎本さんと

作業を終えて脚立を灌頂堂に戻しに行くと、お堂前で休んでいた男性から「榎野さん」と声をかけられた。榎本さんだった。少し早い、伊富喜行者の慰霊に来られたそうだ。月末は運動会などの行事で時間が取れなくて、晴れが確実な本日登ってきた、と話された。釈迦ヶ岳から下ってくる途中で笹刈中の青木さんにも会ったそうだ。お堂の前に腰を下ろし15分程話した。

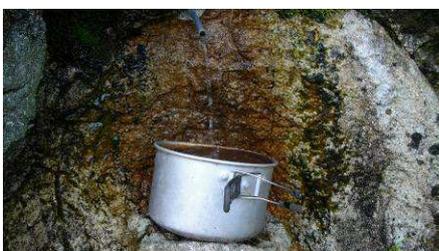
14時15分、榎本さんは伊富喜行者の慰霊碑へ向かわれた。

工具を片付け、小屋内を掃除して香精水の確認に行く。香精水はポタポタではなく、流れ落ちていた。給水には十分な水量だった。青木さんはまだ戻ってこないの、書置きをして小屋を後にする。

千丈平へ上る途中で、横たわる直径25cm程の倒木を40分か

けて切ってみたが、重くて一人では動かせず諦めた。朝、登り始める頃は気温も低く快適だったが、日が登るにつれて気温も上昇。汗ビツシヨリになり千丈平に着く。千丈平にはテンプ泊者が一名、上方から鈴の音が聞こえて、まだ下山中の登山者もいる。

古田の森、不動木屋登山口分岐で休憩して、17時50分、何とか明るうちに下山できた。駐車車両は3台だけになっていた。



香精水はよく出ていた



動かせなかった



無事下山

行動タイム

8:10太尾登山口8:35↓11:10深仙小屋14:45↓16:10千丈平↓17:00太尾登山口。(記：榎野)

青木氏は、昼食を終え、11時30分バリカンとバッテリー5個と水筒を持って釈迦ヶ岳南面の奥駈道へ出発。ガレ場の急な登り10分過ぎあたりから笹の密集が。千丈平分岐まで、ずつと続く。15時30分に分岐へ到着し笹刈り完了。深仙宿小屋に16時過ぎに戻る。16時30分ごろテント泊1人追加。室温20℃。20時就寝。

9月11日(日)

5時30分起床。室温12℃。食事をして7時太古ノ辻に向けてバッテリー2個を持ち出発。8時30分太古ノ辻着。途中の邪魔な張り枝も伐採。

9時10分深仙宿小屋に戻る。休憩後下山。途中、古田の森の標識の位置を変える。12時駐車場着。



笹刈り前



笹刈り後



太古ノ辻迄完了



3週連続の釈迦ヶ岳界隈の笹刈り。太古ノ辻と釈迦ヶ岳と旭駐車場(捲き道が一部残ってる)の笹刈りは終了。

18、19日は、両部分けし楊枝ヶ宿の笹刈り予定。

あと、太古ノ辻と天狗岳もかなり酷いので、時期を見て笹刈りに行く予定です。

(記 青木)